



えっ! こんなどうぶつも!?
運営協議会共催
虹ヶ丘こども文化センター
「ふれあいどうぶつ広場」



5月18日(月)に動物たちと触れ合えるイベントが開催されました。多摩川をきれいにする活動ガサガサ水族館に長年携わる地域の方と一緒に、保護されている動物たちがこども文化センターにやってきました。総勢146人の子どもたちと保護者が参加し、賑やかな一日となりました。最初に地域の方から「命の大切さ」「動物を飼うことの責任」についてのお話があり、真剣に耳を傾ける子どもたちの姿が印象的でした。体験の時間には、外の広場でケツメリクガメのエサやりが行われ、キャベツを手にした子どもたちが、怖がることなく楽しそうにエサをあげていました。室内ではウサギやモルモット等とのふれあいができ、子どもたちは優しく動物を抱っこしていました。また、普段なかなか触れることのできないフクロウやモモンガ、大きなテグー、そ

してヘビとのふれあいコーナーも登場。特にヘビを首に巻く体験は人気で、子どもたちは驚くこともなく興味津々で楽しんでいました。参加した方々からは「モルモットが手の上で丸くなってかわかった」「初めてヘビを首に巻けてうれしかった」「普段近くで見ることができない動物と親子で触れ合うことができて良かったです」といった声が寄せられ、どの子も満足そうな表情を浮かべていました。運営に携わってくれた運営協議会の方たちも毎年楽しみに手伝いに来てくれています。このイベントは、地域の自然環境への理解を深め、生きものとの関わりを通じて命の大切さを学ぶ貴重な機会となっています。今後も継続して開催していくことができればよいなと思っています。



※こぶんたは、当財団が管理運営するこども文化センター 41 施設のキャラクターです。 ※わくりんは、当財団が運営するわくわくプラザ 76 施設のキャラクターです。

かわさき市民活動センターは…

つながりから生まれる誰もが住みやすい地域社会を目指して、市民活動に必要なことをワンストップでサポート。多世代・他分野が集う場と子どもの居場所づくりを行っています。

開館時間 午前9時～午後9時 (日曜・祝日は午後5時半まで)
※各施設の利用時間は異なります

休館日 第3月曜日(祝日の場合は火曜日)

川崎市 まちのひろばをご存知ですか?

「まちのひろば」は誰もが気軽に集うことができ、多様なつながりを育むことができる地域の居場所のこと。市内にある「まちのひろば」を「川崎市コミュニティ note」で見よう!



ナンバーゼロ 2025年夏号 (通巻No.314)

【編集・発行】
公益財団 法人かわさき市民活動センター 市民活動推進課
〒211-0004 川崎市中原区新丸子東3-1100-12
電話 : 044-430-5566 FAX : 044-430-5577
メール : suisin@kawasaki-shiminkatsudo.or.jp
WEB : https://www2.kawasaki-shiminkatsudo.or.jp/volunt/



Map



ポータルサイト「応援ナビかわさき」
https://ouenavi-kawasaki.com/



デザイン : スミナツコ

Number Zero

ナンバーゼロ

2025年 夏号

通巻 No.314

かわさき市民活動センター
ボランティア・市民活動情報紙

特集 | まちのコミュニティと居場所

公共こそわんぱくにー!



だいし わん ぱく
一般社団法人大師 ONE 博 監事
おくぬき けんたろう
奥貫賢太郎さん

団体名のとおり、「好奇心がおもむくまま、童心に帰って、やりたいことを実践する」という意味で、「わんぱく」をキーワードに活動しています。公共においても、この考え方が大切だと思っています。「わんぱく」は、まず“自分の人生を豊かにする”を明確に位置付けます。その目的に最適なチャレンジを想像し、地域や社会にもどうポジティブに作用するかを意識し、実行に移す、というアプローチです。こうした「わんぱく」が生まれ集うコミュニティ・居場所を目指し「どまりば」を作りました。

「どまりば」(土間とたまり場をかけた造語)は、大師でチャレンジしたい人にとって、自由に使える“居場所”であり“玄関口”。外と内の境界が曖昧な土間らしく、「何かやってみたい」を胸に抱く方が“土足で”ふらっと立ち寄り、たまることができます。雑談や交流の中に心理的安全と仲間意識が芽生え、「わんぱく」に参加してもらった現在、ある意味“自分本位”なまちの挑戦者が次々生まれています。さらに多くの人へ、挑戦“熱”のみならず挑戦“欲”や“気軽さ”を伝播しつつあります。「どまりば」から、“公共こそわんぱく”にしたいです。

中面に続きます



どまりば

- 🕒 カフェは不定期で9時から16時までオープン
- ▶ 川崎区大師町6-10
- ✉ info@daishionepark.com

どまりば

【川崎区】

土間はまちの玄関口

「冷たいアイスコーヒーありますよ!」店長の藤原香里さんが縁側の窓越しに道行く人に笑顔で声をかけると、通りがかりの親子連れや外国人旅行者たちが軒下に入ってきます。東門前駅から徒歩5分程度。下町情緒が残る大師地区に会員制のコミュニティスペース「どまりば」があります。畳屋だった建物を地域に活用できないかとの相談を受け、リノベーションを施し今年の4月にオープンしました。運営をしている一般社団法人大師ONE博の拠点であり、この場を共同運営する会員制のコミュニティスペースでもあります(要月額会費)。1階はシェアをする形で毎日8時から20時までいつでも使えます。現在20人の会員はドマメンと称され、ヨガの先生、社会福祉士、WEBデザイン、フォトグラファー、行政書士、ワークショップをしているクラフト系や食育の人などバラエティに富んでいます。「どまりば」は「土間」と「たまり場」を合わせた造語。このまちで何かにチャレンジしたい人の玄関口。ドマメン同士、ドマメンと大師ONE博のコラボ企画も次々に生まれています。



シルク・ドウ・フィル

- 🕒 毎週水曜日10時から18時
- ▶ ※井田、小田中にも会場があります
- ☎ 090-8214-4048 (高橋)

シルク・ドウ・フィル 【中原区】

おしゃべりと編み物で、誰かとつながる心地よい居場所

小さな正方形のピースを編みながら談笑するメンバーたち。毎週水曜日、新丸子駅から5分程のアトリエ「Sistermoon」に集まって活動しています。代表の高橋みちさんは、入院後のリハビリのためにかぎ針編みを始め、「ヤーンボミング」というストリートアートを知り、地域のつながりづくりにぴったりだと、2024年春、この活動を始めました。中原区市民提案型事業に応募して材料費を確保し、2025年2月には、川崎市平和公園の彫刻をすっぽり編みくみました。1枚1枚色もデザインも違う。多少のサイズの違いやでこぼこがあっても大丈夫。ひとりひとりの力が集まり、ひとつにつながった作品は力強く、まちと共通なものを感じます。メンバーから「参加しているとつながりを感じられます」「自分が役に立っている感覚がある」「来るのが楽しみ」「手芸は自分のためだけでなく、社会のためになる」などの声があがりました。会場を提供している横井史恵さんは、「ピースを作りためて、もっと大きな作品に挑戦したい」と今後を話します。

まちのコミュニティと居場所

森カフェ

【宮前区】

公園が人と情報のプラットフォームに

有馬ふるさと公園には月に一度、草刈りをする人たちが集まります。雑草だらけの広場がきれいになってきたころ、おいしいようなコーヒーの香りが漂いカフェオープン! コーヒーを片手に、おしゃべりの輪が広がります。そこから自然と「先生」が生まれ、絵を教える人、写真を教える人、読み聞かせをする人…月替わりでいろんな「先生」が自分の得意なことを教えてくれます。森カフェは、有馬ふるさと公園管理運営協議会が行う公園保全を楽しむ取り組みとして、開催されています。はじめは友達や家族と小さくスタートしましたが、地域活動でつながった人やFacebookで活動を紹介していたところ、人が集まるようになってきました。森カフェ代表の大島京子さんは「シャカリキに草刈りをするのではなく、ちょっと体を動かして、人が集まっておしゃべりするのがいい」と語ります。人と人がつながり、情報が集まって、出会ったり、新たな試みが生まれたりしていく様子をちょっと離れたところで見ているのが好きなのだそう。



森カフェ

- 🕒 第3日曜日10時から12時
- ▶ 有馬ふるさと公園トチノキ広場
- ✉ 連絡は「森カフェ〜有馬の地域コミュニティ〜Facebook」

マチノパズル

【多摩区】

誰もが自分らしく輝ける地域社会を

「誰もが自分らしく、ありのままで過ごせる居場所」づくりを目指し2023年から活動をしているマチノパズル。稲田堤駅周辺で、誰でもゆるく集まれる多世代交流の場「ヒト・コト・マチをつなぐ場まちライブラリー」を開催しています。毎月第1水曜日は、多摩川沿いの住宅街にある「花織たま北」で10時から17時まで開催しています。ここは在宅介護サービスを行う施設の1階にある道路に面した地域交流スペース。「ここできれいにかやってくれないか」と相談されたことがきっかけです。第3火曜日は駅近の「伝説の美容室フォルトゥーナ」でも開催しており、子どもと子育て世代の参加が多いですが、こちらは施設に通う高齢者が中心の多世代交流の場になっています。この日は楽器演奏が得意なメンバーたちがサクソやフルートを演奏。参加者たちは音楽に合わせて手拍子をしたり踊ったりして楽しんでいます。代表の築地美津子さんにネイルをしてもらった女性たちは「きれいな色ね」とお互いの指を見せ合い、とても嬉しそう。他にも「居場所」の畑として「ゆるふわファーム」と「地域のみんなのシェア畑」、第2水曜日に稲田堤駅でゴミ拾いの活動も始めました。誰もが毎日笑顔で暮らせるまちづくりが広がっています。



多世代交流の居場所 まちライブラリー

- 🕒 第3火曜日10時から17時 ▶ (伝説の美容室フォルトゥーナ)
- 🕒 第1水曜日10時から17時 ▶ (花織たま北)
- ✉ machinopuzzle@gmail.com (マチノパズル)